

哲學研究

第四十二卷 第二冊

第四百八十四號

昭和三十七年十二月一日發行

Abduction 山内得立

—「意味の研究」其の四—

ロックの政治思想 塚崎智

文藝作品の構造に関する一考察 北村ひろ子

—主として重層性と統一性について—

京都大學文學部内

京都哲學會

京都哲學會規約

一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする

一、右の目的のために左の事業を行う

(一) 毎月一回會誌「哲學研究」を發行する

(二) 毎年公開講演會を開く

(三) 隨時研究會を開く

一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく

委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する

一、本會に賛助員若干名をおく

賛助員は會員の中から委員會が推薦する

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けな

い 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入

會することができる

一、會員は會費として年一、五〇〇圓(會誌十二冊分を含む)を前納する

但し 二回又は三回に分納することもできる

一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる

一、本會は事務所を京都大學文學部内におく

一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

湯本	武水	松服	蓮野	西谷	長尾	常俊	辻村	棚中	田内	武高	園原	島澤	重山	梶崎	柿井	大白	上野	井島	石田	池田	
淺吉	藤垣	尾部	實重	田又	谷啓	尾雅	村宗	中三	瀬公	内義	原三	芳太	俊三	山雄	崎祐	井二	野照	島	田	義	
幸良	一	義正	重又	啓雅	三	公	襄	知	太	義三	太	芳	俊	山	崎	井	二	野	島	田	
孫治	雄涉	海明	康夫	治人	一郎	爾	郎	範	郎	郎	郎	夫	郎	一	一	顯	尚	夫	勉	仁	祐

「かたること」の能力にもとづく「ことば」(Sprache als Sprechen, Sprache als Satz)の内面形式の概念が、今後さらに追究されなければ、文芸作品の構造に関して、単にここに示したような事例的観察にとどまらない、一般的な論理の確立は期待されないのであろう。

(了)

(筆者 京都大学文学部〔美学〕研修員)

前	号	目	次
		生の存在学か死の弁証法か……田	辺元
		エイコース・ロゴス……森	進一
		書評 西谷啓治博士著	
		「宗教とは何か」を讀みて……阿	部正雄

次	号	論	文	予	告
		近代哲学の世界概念……カール・レビット			佐藤明雄訳
		苦しみの場所……森口美都雄			―その二―
		デカルトの悟性……水野和久			

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年一、五〇〇圓又は半年七五〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入、及び發賣に關する一切は東京都千代田區代官町二 創文社（振替口座東京九二四七二番 創文社）宛に願います
一、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しますから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい（一年分又は半年分）、會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい
一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和三十七年十一月三十日印刷
昭和三十七年十二月一日發行

編集人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

編集代表

常 俊 宗 三 郎

發行人

久 保 井 理 津 男
東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二

印刷人

堀 内 文 治 郎
東 京 都 神 田 三 崎 町 二 一 六

印刷所

堀 内 印 刷 所

發行所

株式會社

創 文 社

東 京 都 千 代 田 區 代 官 町 二
振 替 口 座 東 京 九 二 四 七 二 番
電 話 九 ノ 内 四 〇 〇 八 番

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい
一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價一五〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和
三十七年
十二月
三十日
印刷
發行
(每月
一回)

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLII

December, 1962

No. 2

Abduction

— *A Study of the Meanings* (IV) —Tokuryu Yamauchi

John Locke's Political ThoughtSatoshi Tsukazaki

*Betrachtung über die Struktur des dichterischen
Kunstwerks*

— *besonders von ihrer Mehrschichtigkeit
und Einheitlichkeit* —Hiroko Kitamura

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

定價
一五〇圓

IBM 6427